

若木ライフ
令和5年度 事業報告

若木ライフ事業報告 目次

I 令和5年度若木ライフ事業報告

- 1 取り組み状況 1
- 2 事業の成果 3

II 資料・統計

1 各事業の利用率・利用状況

- ①若木ライフ事業実績の推移 7
- ②若木ライフ職員数 8
- ③特別養護老人ホーム事業 9
- ④短期入所生活介護事業 11
- ⑤一般型通所介護事業 12
- ⑥認知症対応型通所介護事業 13
- ⑦居宅介護支援事業 14
- ⑧地域包括支援センター事業 15

2 活動内容

- ① インシデント・アクシデントレポート報告件数 . . . 16
- ② 特養行事 17
- ③ 訪問理美容サービス 19
- ④ 若木ライフ行事食 20
- ⑤ 若木保育園交流会 20
- ⑥ 特養クラブ活動 21
- ⑦ 地域包括支援センター 22

3 人材育成

- ① 特養外部研修 23
- ② 特養内部研修 24
- ③ 居宅介護事業外部研修 25
- ④ 居宅介護事業内部研修 27
- ⑤ 地域包括支援センター外部研修 . . . 29
- ⑥ 実習生受入れ実績 30

III 決算資料

- 資金収支比較表 31
- 若木ライフ経営状況調表 37

I 令和5年度 若木ライフ事業報告

若木ライフは、利用者の尊厳と自立を保ち、温かく健康的で気持ち良く生活できるよう支援することを基本方針として事業を進めている。

令和5年度事業計画において、①新型コロナウイルス感染症対応②介護ニーズの増大に対応する高齢者福祉の推進、③介護サービスの統合的な提供、④地域包括ケアの推進、⑤介護報酬改定への対応、⑥持続可能な就労環境をめざす、を掲げ推進してきた。

特に、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も対策の充実に努め、入居者・利用者及び職員の感染防止を徹底するとともに、コロナ終息状況を見据え、段階的に各種行事等の再開を進めてきた。

<取り組み状況>

1. 新型コロナウイルス感染症対応

(1) 情報共有の徹底

- ① 全体朝礼を週1回とし、各所属では毎朝の情報共有を行った。
- ② 毎月、月の前半にブリーフィング（簡単な報告等）、後半に全体連絡会を行い、月2回の情報共有を進めた。

(2) 感染防止対策の実施

5類移行後も、施設全体の感染防止対策として、施設に入る者の検温、手指消毒、机や手すりの消毒及び時間を決めた換気の実施を徹底した。

入所者に対しては新型コロナウイルスワクチン接種および、インフルエンザ予防接種の実施を行い、スタッフに対しては、定期的な唾液によるPCR検査の実施を継続的にを行い、感染の早期発見と対応に努めることができた。

なお、新型コロナ発症は7月、9月、12月、1月と確認し入所者33名の感染があり、スタッフは35名の感染を確認した。

2. 介護ニーズの増大に対応する高齢者福祉の推進

特養及びショートステイで空床の効率的利用を進めるため、デイサービスをはじめ各事業の利用率を高めるよう取り組んだ。

特に、特養については、コロナ感染の影響はあったものの、申込者への情報提供や入居前からの情報収集に努め、空床期間の短縮に努めた結果、稼働率の向上（R5：97.2% ←R4：95.9%）を図ることができた。

3. 介護サービスの統合的な提供

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活し、サービスを利用できるよう、日頃から、特養、ショートステイ、通所介護、居宅介護支援、地域包括支援センターの各部署が連携して情報共有を行い、適切なサービスの提供につなげた。

4. 地域包括ケアの推進

地域包括ケアシステムの構築に向けて、相談センター体制強化、機能の充実・強化を図るとともに、地域の自主グループ、サロン、ふれあい館等に出向き、元気力チェックシートの実施や、認知症サポーター養成講座を開催し、介護予防に向けた取り組みを推進した。

5. 介護報酬改定への対応

令和6年度介護報酬改定に向け、加算項目の適切な取得による、サービスの質的向上につなげるべく、改定趣旨をふまえた体制構築の検討を行うなど、各部署連携して対応に努めた。

6. 持続可能な就労環境

- ① 不足する介護職員の安定的な確保を図るため、外国人の育成に取り組み、グループ施設へも派遣・紹介・出向として介護職員の供給を行った。
- ② 介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修を開催し、グループ施設の介護職員の育成を図った。
- ③ 資格取得に取り組む職員を支援するため経費補助制度を整備し研修の充実を図った。
- ④ 駐輪場を整備し、職員、来所者用のスペースを確保、利便性の向上を図った。

3 事業の成果

① 管理

1	事業	事業運営の透明性の向上
	成果	ホームページへの財務情報等の公開を引き続き行うと共に、施設入口に掲示板を設置し、法人情報の周知を図った。 法人の監事を新たに1名選任し、事業経営のガバナンス強化を図った。
	説明	社会福祉法第24条に基づく経営原則の実行（自主的な経営基盤の強化・提供する福祉サービスの質の向上・事業経営の透明性の確保）を図った。
2	事業	地域交流の再興
	成果	ボランティア受け入れや町会への会議室開放等、コロナ禍で中止していた交流について、感染対策を講じながら順次再開した。 併設する中台おとしより相談センターの活動を主体として、サロン等の開催支援など、地域交流の再興を行った。
	説明	福祉サービスの中心的担い手として、社会福祉事業の着実な実施を図った。
3	事業	地域社会への貢献（SDGs への取り組み）
	成果	施設外堀の掲示板を活用し、地域での職員募集を行い、実際に就業までに至り、地域社会への貢献に役立てた。『事業用大規模建築物における再利用計画』の目標にも掲げた、ペーパーレス化について、全部署に対して、紙出しの必要性の検討、白黒印刷の推奨、裏紙使用の励行を行った。
	説明	福祉サービスの中心的担い手として、地域の福祉ニーズの多様化・複雑化への柔軟かつ機動的な対応を行った。

② 特養・ショートステイ

1	事業	稼働率の向上
	成果	特養：4年度 95.9%→5年度 97.2% SS：4年度 70.2%→5年度 79.6%
	説明	特養：入所待機者のうち入所できそうな方へ早めに声掛け、情報収集し、速やかな入所調整に努めた。入所検討委員会は定例年2回の他、随時開催。SS相談員も新たに委員として招集し、情報共有している。SSから特養入所になった方は7名。 SS：コロナクラスター発生により利用を制限した期間はあったが、その後は稼働回復した。近隣ショートステイ利用休止があり、利用者が増加。特養入院者ベッドも活用。
2	事業	「家族介護者教室」の開催
	成果	若木ライフ利用者・家族向けに「家族介護者教室」を開催
	説明	特養・ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援・地域包括が協力して、開催。地域住民も含め14名参加。「歩く」をテーマの講座内容は好評だった。 年2回開催予定だったが、コロナクラスター発生により1回のみ開催。

	事業	転倒・転落事故への対策
3	成果	各居室に防犯カメラを設置。原因分析・対策検討に役立てている。
	説明	既設の防犯カメラ（共有スペース）のほか、今年度各居室にもカメラを設置。プライバシー保護のため必要時のみ映像を確認することについて、利用者・ご家族に同意を得ている。
	事業	看取り介護の充実（関係職種との連携強化）
4	成果	ご家族等へ状況説明をこまめに行い、ご家族も安心して看取り介護に移行
	説明	看取り介護新規契約者9名。看取り介護の末、若木ライフでご逝去された方7名。

② 看護

	事業	感染症対応の徹底
1	成果	新型コロナウイルスおよびインフルエンザ等、その他の感染症対策の対応を行った。
	説明	感染の発症時は標準予防策を早期に開始し、感染の伝播を最小限にすることに意識し、新型コロナ5類に移行後の社会的な現状を鑑み、対応に関しては柔軟に検討した。入所者に対しては新型コロナウイルスワクチン接種、及びインフルエンザ予防接種の実施を行い、スタッフに対しては、定期的な唾液によるPCR検査の実施を継続的にを行い、感染の早期発見と対応に努めることができた。新型コロナ発症は7月、9月、12月、1月と確認し入所者33名の感染があり、スタッフは35名の感染を確認した。
	事業	多職種との円滑な連携の推進
2	成果	的確に医療へ繋げることが重要であり、日々の情報を多職種及び外部機関とも共用した。また、ショート入所時は医療的背景を相談員と情報共有を行うと共に、フロアスタッフとも共有した。また、特養入所の際も同様に医療・介護ケアの状況を査定し、介入しやすい方法を関連職種に共有を図った。
	説明	医療の介入の判断は看護部が担っているため、常に変化を観察し判断を求められる。また、ショート利用者の特養入所は7名であったが、入所後の医療的処置が必要な場合は速やかに判断する行う必要があり、多職種との連携は不可欠であった。
	事業	入所者・家族が納得する健康管理業務の推進
3	成果	入所者の異常早期発見に努め、状態変化時に往診医へ報告、連絡、相談をタイムリーに行い、多職種と連携を図り必要な医療への移行を行った。また、夜間看護職が不在時の状態変化の判断についても、夜間相談窓口を設けて4件の相談を受けて3件が救急搬送となり入院加療に繋がった。
	説明	日々の検温の実施や入所者の状態を看護スタッフ間で情報交換を行った。状態の変化時は、多職種と連携を図り必要な受診などの対応を行い、こうした一連の流れを往診医へ報告し情報共有を常に意識して実施した。定期的な入所者健康診断を10月に実施した。また慈誠会関連施設からの受入や転所時の情報共有も積極的に行った。

③ 機能訓練

1	事業	記録とデータに基づく機能訓練の実施
	成果	アセスメント、日々のケース記録、関係職員からの情報提供をもとに機能訓練を実施した。
2	事業	変化に対応したPDC Aサイクルを踏まえた機能訓練の実施
	成果	3か月又は利用者様の状態変化に対応しながら訓練を実施した。

④ 栄養

1	事業	安全・安心で衛生的な食事の提供
	成果	食中毒等の問題を起こすことなく、365日安全・安心な食事の提供を行うことができた。
2	事業	個別栄養管理の推進
	成果	特養利用者、デイサービス利用者全員分の栄養アセスメントを行うことができた。
3	事業	効率的で働きやすい環境整備
	成果	夏場の厨房内温度が平均30℃前後であったため、クールビス（夏用の上着、クールリング）を導入した。制服（下肢）を伸縮性、通気性の良いものに変更し動きやすいものにした。

④ デイサービス

1	事業	感染症等の対応および対策の徹底
	成果	日常の感染予防対策と新型コロナウイルス感染者及び発熱者への早期対応により、感染拡大を予防できた。
	説明	設備の消毒、乗車時・迎え入れ時・午後の検温、体調観察、フロア・車両の換気を継続した。感染者と同じ空間にいた全利用者・職員・関係機関に対し、体調観察の依頼連絡を行った。発熱等の体調変化時の早退対応、関係機関との連携を行った。また、施設内や地域の感染状況を鑑み、見学の中止や延期により新たな感染を予防した。
2	事業	ひかり・のぞみ相互連携、サービスの質の向上
	成果	情報を共有し、利用者の状態に合わせてデイサービス間の移行を行った。
	説明	利用者の認知機能、ADLに関して情報を共有した上で、多職種と連携してひかり→のぞみに移行した。ご利用時の変化に注意してサービスを提供することで、サービスの質の向上にも繋がり、利用が継続できている。
3	事業	特養、短期入所、在宅事業との連携体制を強化
	成果	デイサービス、短期入所の連携を継続することで、利用増加に繋げた。
	説明	施設内の他事業の強みを見学時や契約時に利用者やご家族、ケアマネに説明しご意向を伺うことで新規利用が増加。多職種と連携を図りながら利用が定着できている。

⑤ 居宅介護支援事業

1	事業	業務の相互チェック体制の確立
	成果	相互チェック体制を確立するまで至らなかったが、それぞれ担当する利用者の情報共有が深まった。
	説明	系列法人転職者が3名居り、在職者がケアプランを引き継いだことで、それぞれの個別ケースが抱える問題が明らかとなり、互いに叡智を持ち寄りチームプレイで利用者支援に当たることができた。
2	事業	施設内在宅部門との連携強化
	成果	一般デイサービス、認知症対応型デイサービス、ショートステイへ新規利用者等を紹介し、利用に繋がられた。施設部門においても若木ライフや紅梅園への入所利用者が数名いた。
	説明	一般デイサービス、認知症対応型デイサービス、ショートステイ間連携は良好。予防支援利用者は介護サービスを利用しなくなったケースや系列法人への職員異動に伴い、中台おとしより相談センター間委託契約を終了したケースがあった。
3	事業	働きやすい環境の整備
	成果	恒常化していた長時間サービス残業の適正化を図った。
	説明	必要な残業については事前申請するよう改めて周知した。毎日の朝礼で担当する個別ケースについて情報共有し、相談しやすい雰囲気作りを心がけた。

⑥ 地域包括支援センター

1	事業	計画に基づく事業の推進
	成果	板橋区に届け出ている事業計画どおりに計画遂行できた。
	説明	包括内で年間計画を作成し、担当者が計画的に事業を行った。
2	事業	利用者と地域のニーズに応える業務の推進
	成果	地域の総合相談窓口として迅速に対応した。また、ひとり暮らし高齢者の実態把握を行い、区への報告や相談を受け付け対応した。
	説明	電話、来所、訪問を行い相談対応した。地域のケアマネジャーからの情報提供や相談に対応しケアマネ支援を行った。見守りネットワーク登録者の全戸訪問を実施し、現状の確認や相談を受け付け対応した。
3	事業	働きやすい環境の整備
	成果	時間内に業務を終えられるよう取り組み、時間外勤務、休日勤務等の抑制を図った。
	説明	一方で、繁忙時における相談や情報共有のあり方に課題があった。

Ⅱ 資料・統計

1 各事業の利用率・利用状況

① 若木ライフ 事業実績の推移

年度		5	4	3	2	元	元年度を基準とした指数				
							5	4	3	2	
特 養	定員(人)	90	90	90	90	90					
	利用者延数(人)	32,030	31,493	31,623	31,875	31,523	507	△ 30	100	352	
	利用率	97.2%	95.9%	96.3%	97.0%	96.0%	1.20	△ 0.10	0.30	1.00	
短 期 入 所	定員(人)	10	10	10	10	10					
	利用者延数(人)	2,898	2,563	2,611	3,636	3,649	△ 751	△ 1,086	△ 1,038	△ 13	
	利用率	79.6%	70.2%	71.6%	99.6%	99.7%	△ 20.10	△ 29.50	△ 28.10	△ 0.10	
通 所 介 護	定員(人)	23	23	23	23	23					
	利用者延数(人)	3,886	3,382	3,205	3,723	4,607	△ 721	△ 1,225	△ 1,402	△ 884	
	利用率	54.7%	47.3%	45.0%	52.2%	64.4%	△ 9.7	△ 17.1	△ 19.4	△ 12.2	
認 知 症 対 応 通 所 介 護	定員(人)	12	12	12	12	12					
	利用者延数(人)	2,308	1,770	1,650	1,925	2,380	△ 72	△ 610	△ 730	△ 455	
	利用率	62.2%	47.5%	44.4%	51.7%	64.4%	△ 2.2	△ 16.9	△ 20.0	△ 12.7	
居 宅 支 援 介 護	ケアプラン作成数	1,229	1,486	1,527	1,389	1,286	△ 57	200	241	103	
	訪問回数	1,661	2,298	2,494	2,428	2,527	△ 866	△ 229	△ 33	△ 99	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	ケアプラン 作成数	予防給付	2,490	2,384	2,297	2,105	2,156	334	228	141	△ 51
		総合支援	2,069	2,113	2,135	2,156	2,448	△ 379	△ 335	△ 313	△ 292
	相談件数	14,097	10,250	14,270	11,986	6,962	7,135	3,288	7,308	5,024	
	予防訪問回数	1,573	1,746	1,827	1,987	2,444	△ 871	△ 698	△ 617	△ 457	
	総合支援訪問回数	1,589	1,026	1,353	993	1,169	420	△ 143	184	△ 176	

②若木ライフ職員数

06.3.1現在

単位＝人

	特養		ショートステイ		通所介護(一般)		通所介護(認知症対応)		居宅介護支援事業所		地域包括支援センター		栄養		管理		合計		
	05	04	05	04	05	04	05	04	05	04	05	04	05	04	05	04	05	04	
正規	46	38	3	3	2	2	3	3	5	4	7	7	4	4	5	4	75	65	
准職員	19	20	2	2	7	8	5	3	0	0	0	0	7	9	5	6	45	48	
計	65	58	5	5	9	10	8	6	5	4	7	7	11	13	10	10	120	113	
常勤換算人数	59.38	52.54	4.79	4.79	7.55	7.71	6.93	5.68	5	4.00	7	8.00	7.96	8.64	8.74	8.88	107.35	100.23	
職 種	施設長														1	1	1	1	
	事務														5	5	5	5	
	生活相談員	2	2	1	1	1	1	2	1								6	5	
	社会福祉士										3	3					3	3	
	介護支援専門員	1	2							5	4	3	4				9	10	
	配置医	1	1														1	1	
	看護師	6	6			2	2					1	1				9	9	
	介護職員	53	45	4	4	4	5	5	4								66	58	
	管理栄養士													3	3			3	3
	栄養士													1	1			1	1
	調理員													7	9			7	9
	機能訓練指導	2	2															2	2
	清掃・運転					2	2	1	1							4	4	7	7
計	65	58	5	5	9	10	8	6	5	4	7	8	11	13	10	10	120	114	

※ 地域包括支援センターの看護師は相談業務として配置

③特別養護老人ホーム事業

1 実績（定員90名/日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度	増減
在籍者数	88	88	90	88	87	86	87	84	89	88	88	89	1,052	1,036	16
延利用者数	2,566	2,728	2,687	2,751	2,710	2,588	2,666	2,587	2,695	2,736	2,572	2,744	32,030	31,493	537
利用率	95.0	97.8	99.5	98.6	97.1	95.9	95.6	95.8	96.6	98.1	98.5	98.4	97.2	95.9	1.3

2 入院延日数

単位＝日

年度	R5	R4	R3	R2	R1
計	916	611	682	933	579

3 入所者の状況（令和6年3月末現在）

（1）年齢別

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計
男	0名	1名	4名	3名	4名	9名	4名	25名
女	0名	1名	4名	6名	9名	23名	21名	64名
計	0名	2名	8名	9名	13名	32名	25名	89名

※平均年齢 85.37歳（最高齢 106歳）

（2）要介護度別

	1	2	3	4	5	計
男	0名	0名	6名	10名	9名	25名
女	0名	2名	10名	26名	26名	64名
計	0名	2名	16名	36名	35名	89名

※平均要介護度 4.17

※要介護度4以上 79.78%

（3）介護保険負担割合

	人数	割合
1割負担	83名	93.3%
2割負担	2名	2.2%
3割負担	4名	4.5%
計	89名	100%

→

1割負担の内訳

	人数	割合
第1段階	10名	12.05%
第2段階	10名	12.05%
第3段階①	12名	14.46%
第3段階②	20名	24.09%
第4段階	31名	37.35%
計	83名	100%

4 入退所状況

年度		R5	R4	R3	R2	R1
入所	病院	6名	3名	8名	10名	10名
	老健	9名	8名	4名	6名	9名
	自宅	7名	10名	7名	10名	10名
	その他	2名	1名	4名	3名	3名
	計	24名	22名	23名	29名	32名
退所	入院継続	8名	5名	8名	15名	7名
	看取り	7名	14名	10名	10名	21名
	死亡（病院他）	4名	4名	5名	6名	0名
	在宅・施設	0名	0名	3名	0名	0名
	計	19名	23名	26名	31名	28名
差引（入-退）		5名	△1名	△3名	△2名	4名

5 看取り介護状況

年度	R5	R4	R3	R2	R1
件数	7	14	10	10	13
退所者割合	36.8%	60.9%	38.5%	32.3%	46.4%

④短期入所生活介護事業

1 実績（定員10名/日）

（令和6年3月末現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度	増減
在籍者数	25	24	26	26	23	23	24	28	31	21	27	29	307	305	2
延利用者数	214	200	217	219	213	197	255	278	281	222	280	322	2,898	2,563	335
利用率	71.3	64.5	72.3	70.6	68.7	65.7	82.3	92.7	90.7	71.6	96.6	103.9	79.6	70.2	9.4

2 利用者の状況

（令和6年3月現在）

（1）年齢別（年間）

61歳～65歳	66歳～70歳	71歳～75歳	76歳～80歳	81歳～90歳	91歳～	計
0名	2名	4名	12名	27名	23名	68名

（2）要介護度別（年間）

支援	1	2	3	4	5	計
0名	8名	7名	28名	9名	16名	68名

（3）利用日数

	平均	最長	最短
令和4年度	5.51日	29日	1日
令和5年度	6.52日	29日	1日

（4）送迎件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設送迎	83件	71件	77件	72件	72件	59件	79件	86件	98件	34件	93件	105件	929件
自己送迎	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	1件	4件

（5）収入段階別（利用者負担割合）

負担割合	人数
1割	61人
2割	3人
3割	4人
計	68人

※負担割合の内訳

段階	人数	割合
第1段階	2人	3%
第2段階	3人	4%
第3段階①	7人	10%
第3段階②	6人	9%
第4段階	50人	74%
計	68人	100%

3 備考 施設内新型コロナクラスター発生により

令和5年9月19日～令和5年10月9日 2階受け入れ中止。

令和6年1月4日～令和6年1月21日2階受け入れ中止。

⑤一般型 通所介護事業

1 利用者数等実績（定員23名／日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度	増減
利用者 実数	37	42	43	41	38	39	40	43	43	42	42	44	494	420	74
利用者 延数	266	299	320	356	318	312	325	362	337	308	341	342	3,886	3,382	504
利用率 (定数比)%	46.3%	50.0%	53.5%	59.5%	51.2%	52.2%	54.3%	60.5%	56.4%	55.8%	59.3%	57.2%	54.7%	47.3%	7.4
営業 日数	25	26	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	309	311	△ 2

2 サービス利用者の状況（令和5年3月現在）

(1) 年齢別

人

50～59歳代	60～64歳代	65～69歳代	70～74歳代	75～79歳代	80歳以上	計
0	0	0	1	2	39	42

(2) 要介護度別

人

事業対象者	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	計
/	5	5	10	11	6	3	2	42

(3) 週間利用日数

人

1日	2日	3日	4日	5日	6日	計
18	8	7	7	2	0	42

(4) 送迎サービス利用数

40名／42名（自己送迎：2名）

(5) 入浴サービス利用数

リフト浴 7名 一般浴 35名（合計：42名）

(6) 特記事項

利用登録者数 42名（休止中：0）

⑥認知症対応型 通所介護事業

1 利用者数等実績（定員12名／日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度	増減
利用者 実数	19	19	20	21	20	21	21	22	25	25	26	26	265	215	50
利用者 延数	133	154	159	171	177	189	191	193	231	238	224	248	2,308	1,770	538
利用率 (定数比)%	44.3%	47.5%	51.0%	54.8%	54.6%	60.5%	61.2%	61.9%	74.0%	82.6%	74.7%	79.4%	62.2%	47.5%	14.7
営業 日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310	311	△1

2 サービス利用者の状況（令和5年3月現在）

(1) 年齢別

人

50～60歳代	61～64歳代	65～69歳代	70～74歳代	75～79歳代	80歳以上	計
1	0	2	0	4	19	26

(2) 要介護度別

人

要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	計
0	0	2	6	9	4	5	26

(3) 週間利用日数

人

1日	2日	3日	4日	5日	6日	計
2	8	8	4	3	1	26

(4) 送迎サービス利用数

26名／26名（自己送迎：0名）

(5) 入浴サービス利用数

リフト浴 10名 一般浴 14名（合計：24名）

(6) 特記事項

利用登録者数 26名

⑦居宅介護支援事業

①ケアプランの作成実績

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護	96	88	92	109	102	100	115	101	103	103	109	111	1,229
予防委託	7	10	9	9	5	4	3	3	4	5	5	7	71

(件)

年	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
要介護	1,306	1,212	1,286	1,389	1,527	1,486	1,229
予防委託	62	99	126	79	84	90	71

②訪問件数

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護	120	115	132	154	132	126	128	140	161	145	145	163	1,661

(件)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
居宅介護	2,506	2,399	2,527	2,428	2,494	2,298	1,661

③対象者の状況 (令和5年3月末現在)

(人)

年齢別	～60歳	61～70歳	71～80歳	81～90歳	91～100歳	101歳～	計
	2	6	19	65	25	1	118

(人)

介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	2	5	30	35	27	12	7	118

④人員 (R6.3.31現在)

介護支援専門員 常勤専従 4名 (内、主任介護支援専門員1人)

⑧地域包括支援センター事業

①ケアプランの作成実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
予防給付	200	208	206	204	204	200	205	205	212	216	211	219	2,490
総合支援事業	190	197	180	174	177	166	164	172	166	162	160	161	2,069

年	R1	R2	R3	R4	R5
介護予防	2,156	2,105	2,297	2,260	2,490
総合支援事業	2,448	2,156	2,135	2,237	2,069

②相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1,096	1,315	1,311	1,217	1,327	1,261	1,038	1,265	1,324	756	1,081	1,106	14,097

年	R1	R2	R3	R4	R5
件数	6,962	11,986	14,270	10,250	14,097

③訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防	136	148	134	152	132	161	147	143	148	26	124	122	1,573
総合支援事業	94	86	169	153	123	105	133	165	171	150	125	115	1,589

年	R1	R2	R3	R4	R5
介護予防	2,444	1,987	1,827	1,746	1,573
総合支援事業	1,169	993	1,353	1,026	1,589

④予防支援対象者の状況 (令和6年3月末現在)

年齢別	～60歳	61～70歳	71～80歳	81～90歳	91～100歳	101歳～	計
	3	19	73	238	71	0	404
介護度別	事業対象者	要支援1	要支援2				
	4	146	254				404

⑤人員 (R6.3.31現在)

保健師(常勤)1人 看護師(常勤)0人
 社会福祉士(常勤)3人
 主任介護支援専門員(常勤)1人
 介護支援専門員(常勤)2人

計 7人

2 活動内容

①インシデント・アクシデント報告件数

1 利用者影響レベル別件数

(件)

年度	05	04	03	02	01	30
実害なし	95	90	137	131	108	111
要観察	90	108	102	138	112	149
施設内処置	25	14	5	26	28	13
医療機関	11	14	16	14	10	12
死亡	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	1
合計	221	226	261	309	258	286

2 事故分類別件数

(件)

年度	05	04	03	02	01	%
転倒	49	52	46	73	64	22.3%
ずり落ち	35	24	31	39	28	12.3%
誤嚥	2	4	0	2	0	0.6%
異食	3	6	2	6	0	1.3%
介護中のけが	14	11	12	13	21	5.6%
不穩（徘徊含む）	11	9	24	23	12	6.2%
誤薬	5	7	2	6	8	2.2%
その他	102	113	144	147	125	49.5%
合計	221	226	261	309	258	100.0%

② 特 養 行 事

実施日	行事名	内容
毎月行事	誕生会	メッセージカード、お花を贈り誕生日を祝う
年 4 回	季節を感じる 夕食会	会議室の壁一面にプロジェクターを使い、季節の画像を映す。観賞しながらオードブルや好きなドリンクを召し上がり楽しんでもらう。毎回、好評で利用者から次はこんな物が食べたい、～が観たいとリクエストがある。
4 月 23 日	出張販売	利用者約 70 名参加(B1 デイルーム) 日用品からお菓子、デザート、衣類の展示を行い販売。職員付き添いのもと試着、会話をしながら買い物を楽しんだ。特に女性利用者に好評であった。
5 月 15 日	新茶を楽しむ会	利用者約 100 名参加(各フロアー・デイルーム) 新茶を飲むと 1 年間無病息災で過ごせると言い伝えがあり、利用者の無病息災を願い計画した。狭山市の農園に直接連絡し新茶を取り寄せた。日本茶に合う和菓子とともに召し上がっていただく。急須を使い目の前で茶を注ぎ香りも楽しんだ。
6 月 4 日	管弦楽 生演奏会	利用者約 40 名 参加 (2 階デイルーム) 3 年半ぶりにボランティア団体ルナピーノ様を招いて管弦楽の生演奏を披露。バイオリンをはじめ 6 種類の楽器での演奏に利用者様は夢中になり、みなさん笑顔で拍手を送っていた。演奏の最後では利用者からアンコールの声援があがり、予定より 2 曲多く演奏していただき大いに盛り上がった。
8 月 6 日 9 月 3 日	夏祭り	利用者約 90 名 参加(B1 デイルーム) 1 階フロアーでコロナが発生したため本年度も 2 回に分けて実施。地下のデイルームに手作りやぐらを設置。甘味屋、ソース煎餅屋、ドリンクコーナー、射的、カラオケコーナーを設け夏祭りの雰囲気を感じてもらった。特に射的と景品の受け取りは好評であった。
10 月 8 日	出張販売	利用者約 80 名 参加(B1 デイルーム) コロナ禍で外出する機会がない利用者様より、また買い物をしたいと希望が多く、実施の運びとなった。職員付き添いのもと買い物を楽しんだ。今後は春、秋の恒例行事としていく。
12 月 10 日	年忘れ お楽しみ会	利用者約 40 名 参加(B1 デイルーム) 当日に 2 階フロアーでコロナが発生。3 階、4 階の利用者のみで実施。11 月の終わりから利用者、職員でクリスマス装飾を行う。舞台を設置して利用者と職員がのど自慢大会を開催、審査員席を設け本格的に行った。箱の中身は何でしょうゲームでは会場中に笑い声が響いていた。最後はサンタクロースからのプレゼント贈呈、シャンメリーで乾杯しケーキを食べてクリスマスを楽しんだ。
1 月 12 日	新年を祝う会	コロナクラスター発生のため中止

2月5日	節分行事	利用者約 100 名 参加(各フロアで実施) 鬼に扮した職員が各フロアを回り、利用者に豆の変わりにボーロをまき楽しんでもらう。 その後、洋菓子、ジュースの提供。
3月20日	コンサート	利用者約 90 名 参加 歌手みつき愛様をお招きしてコンサートを開催。 利用者に鈴やタンバリンを持ってもらい一緒に演奏を盛り上げた。みつき愛様のきらびやかな衣装と利用者に合わせて選曲で拍手喝采であった。最後はサインの求めや記念撮影を希望した利用者全員に対応していただいた。
3月後半から 4月前半	お花見	利用者 30 名参加(4回に分けて実施) 天候に恵まれず予定より少ない人数となってしまったが満開の桜を楽しむことができた。2回は車で平和公園へ、2回は近所の若木原公園へ徒歩で外出。チョコレートを食べながら公園で遊ぶ子供たちを見て、笑顔で過ごされていた。

③訪問理美容サービス

(1) 月別 訪問理美容サービス利用者数

a 訪問美容サービス

実施日	特養	短期入所	合計
	人数	人数	
4月1日・8日	12名	2名	14名
5月5日・13日	25名	0名	25名
6月3日	11名	0名	11名
7月1日・8日	23名	1名	24名
8月5日・12日	21名	1名	22名
9月2日・9日	22名	1名	23名
10月7日・14日	19名	0名	19名
11月4日・11日	21名	2名	23名
12月2日・9日	27名	0名	27名
1月6日・27日	14名	1名	15名
2月3日・10日	20名	1名	21名
3月2日・9日	19名	0名	19名
合計(延数)	234名	9名	243名

b 訪問理容サービス

実施日	特養	短期入所	合計
	人数	人数	
4月24日	14名	1名	15名
5月29日	5名	0名	5名
6月26日	14名	1名	15名
7月なし	0名	0名	0名
8月28日	18名	1名	19名
9月25日	12名	0名	12名
10月30日	15名	0名	15名
11月27日	15名	0名	15名
12月25日	16名	0名	16名
1月29日	12名	0名	12名
2月26日	19名	1名	20名
3月25日	10名	0名	10名
合計(延数)	150名	4名	154名

(2) 経費概要

	訪問美容	訪問理容	合計	
収入額	¥1,128,000	¥541,800	¥1,669,800	※利用者より徴収
支出額	¥933,600	¥418,600	¥1,352,200	※実施業者へ支払い
差引額	¥194,400	¥123,200	¥317,600	※施設収入

(内訳 特養：¥307,200 短期入所：¥10,400)

(3) 実施業者

美容サービス 「Norijue」 美容師：山下千恵子 毎月第1・2土曜日実施
 内容：カット、カラー、パーマ

理容サービス 「東京都理容環境衛生同業組合赤塚支部福祉部」 代表者：山中静子
 毎月最終月曜日実施
 内容：カット、顔剃り、髭剃り 最終月曜日実施

④若木ライフ 行事食

実施日	歴	施設行事	行事食内容	朝	昼	夕	間
4/4 (火)			お花見メニュー (さくらのちらし寿司、大豆煮、うまい菜となめこの和え物、茶碗蒸し)		○		
4/12 (木)			郷土料理 (広島) もぶり飯		○		
4/28 (金)			筍ご飯		○		
5/5 (金)	端午の節句		こどもの日メニュー (オムライス、エビフライ、コンソメスープ、メロンゼリー)		○		
5/12 (金)			郷土料理 (石川) (筍昆布)		○		
5/14 (日)	母の日		赤飯、刺身盛り、手作り福まんじゅう (白あん)		○		○
5/23 (火)			郷土料理 (東京都) (深川井)			○	
6/9 (金)			郷土料理 (富山県) (なすのよごし)		○		
6/12 (月)			梅雨メニュー (あじさい寿司、里芋の鶏そぼろ煮、ほうれん草となめこのおから和え、味噌汁)		○		
6/15 (木)			新生姜ご飯		○		
6/18 (日)	父の日		赤飯、刺身盛り		○		
7/3 (月)			郷土料理 (山形県) (ひやじる)		○		
7/7 (金)	七夕		七夕メニュー (七夕ソーメン、ごぼうの味噌金平、黄桃缶のピーチジュレ)		○		
7/10 (月)			サラダ寿司		○		
7/12 (水)			海鮮焼きそば		○		
7/17 (月)	海の日		海の日メニュー (ホキのグリル(地中海風ソース)		○		
7/30 (日)	土用の丑の日		うな井		○		
8/10 (木)			郷土料理 (山口県) (はすのさんばい)		○		
8/15 (火)			冷やし中華		○		
8/18 (金)			郷土料理 (宮城県) (おくずかけ)		○		
8/31 (木)			枝豆ご飯		○		
9/14 (木)			中華メニュー (えび炒飯、鶏の唐揚げ、もやしとにらの土佐酢和え、中華スープ)		○		
9/11 (月)			郷土料理 (福岡県) (がめ煮)		○		
9/18 (月)	敬老の日		敬老御膳 (茸御飯、刺身盛り、大根とグリーンピースのそぼろ煮、れんこんとひじきの黒ゴマサラダ、味噌汁)、手作り紅白まんじゅう		○		○
9/20 (水)			秋の実りカレー (さつまいも)		○		
9/29 (金)	十五夜		手作りプリン (塩ミルクソース)				○
10/3 (火)			郷土料理 (静岡県) (ピーナッツなます)		○		
10/5 (木)			吹き寄せ寿司		○		
10/11 (土)			郷土料理 (熊本県) (太平燕)		○		
10/17 (火)			萩ご飯		○		
10/27 (金)	十三夜		栗ご飯		○		
10/31 (火)	ハロウィン		かぼちゃムース (ホイップクリーム添え)				○
11/8 (水)			郷土料理 (香川県) (しっぽくうどん)		○		
11/16 (木)			郷土料理 (富山県) (いとこ煮)		○		
12/13 (水)			郷土料理 (愛知県) (味噌おでん)		○		
12/22 (金)	冬至		かぼちゃの含め煮		○		
12/25 (月)	クリスマス		クリスマス御膳 (オムライス、鶏の唐揚げ、洋風お浸し、コーンポタージュスープ)		○		
12/26 (火)			郷土料理 (奈良県) (奈良のつべ)		○		
12/31 (日)	大晦日		晦日そば (えび天)			○	
1/1 (月)	元旦		ご飯、盛り合わせ、味噌汁/赤飯、おせち料理、雑煮 (白みそ仕立て) /寿饅頭	○	○		○
1/2 (火)			初春のちらし寿司、雑煮 (すまし仕立て)、手作り梅ようかん		○		○
1/3 (水)			うな井		○		
1/7 (日)	七日正月		春の摘み草粥	○			
1/10 (水)			郷土料理 (茨城県) (煮合い)		○		
1/11 (木)	鏡開き		手作りぜんざい				○
1/15 (月)	小正月		赤飯、刺身盛り		○		
2/3 (土)	節分		節分御膳 (巻き寿司/福寿司、れんこんと牛肉の金平、うまい菜とえのきのピーナッツ和え、いわしのつみれ汁)、Ca入りポーロ		○		○
2/14 (水)	バレンタイン		手作りチョコプリン (ホイップクリーム添え)				○
2/27 (火)			郷土料理 (兵庫県) (大根ごはん)		○		
3/3 (日)	桃の節句		ひな祭り御膳 (ちらし寿司、れんこんと豚肉の炒り煮、茶碗蒸し、フルーツ)、ひなあられ		○		○
3/14 (木)			郷土料理 (沖縄県) (クープイリチー)		○		
3/14 (木)	ホワイトデー		手作りいちごミルクプリン (ホイップクリーム・いちご添え)				○

⑤若木保育園交流会

感染症対策によりすべて中止

⑥ 特 養 クラブ活動

実施日時	担当者	内容	参加人数
R5. 4. 2(日) 11:00~11:30	渡辺正美 高橋裕子	脳トレ 早口言葉ゲーム	4階 6名 3階 9名
R5. 4. 16(日) 11:00~11:30	依田 エイ チャウ	鯉のぼり作成	2階 7名 4階 6名
R5. 4. 28(日) 14:00~14:30	チャウ 笹平 エイ	カーネーションの折り紙	2階 12名 1階 6名
R5. 5. 14(日) 10:00~11:00	チャウ 笹平 エイ	カーネーションの折り紙	4階 10名 3階 7名
R5. 5. 21(日) 10:30~11:00	渡邊正美 蔣 アニー	ボール投げ 都道府県ゲーム	1階 6名 2階 12名
R. 5. 6. 2(日) 10:00~11:00	チャウ 依田	紫陽花の折り紙	2階 7名 1階 7名
R5. 6. 18(日) 10:30~11:30	アニー 高橋裕子	ボール投げ 間違い探しゲーム	4階 8名 3階 11名
R5. 7. 2(日) 10:00~11:30	依田 エイ チャウ ウ 笹平	七夕飾りと歌会	3階 11名 4階 8名
R5. 7. 16(日) 10:30~11:00	渡邊正美 高橋裕子	都道府県ゲーム ことわざクイズ	1階 7名 2階 14名
R5. 7. 23(日) 10:30~11:00	高橋裕子 アニー	都道府県ゲーム ことわざクイズ	4階 9名 3階 16名
R5. 8. 13(日) 10:00~10:30	笹平 チャウ	音楽会で使うマラカス作り	3階 12名 4階 7名
R5. 8. 20(日) 10:30~11:30	渡邊正美 蔣	玉入れ大会 言葉並び替えクイズ	3階 8名 4階 8名
R5. 8. 27(日) 10:00:~11:00	渡邊正美 蔣	玉入れ大会 連想ゲーム	1階 5名 2階 9名
R5. 9. 10(日) 10:00:~11:00	依田 エイ	音楽会で使うマラカス作り	2階 11名 1階 4名
R5. 9. 17(日) 10:00:~11:00	高橋裕子 蔣	イントロ曲当てゲーム 脳トレ	2階 14名 4階 16名
R5. 10. 1(日) 10:30:~11:30	アニー 蔣 高橋裕子	脳トレ 食の基礎知識	3階 13名 1階 6名
R5. 10. 22(日) 10:00:~10:30	依田 笹平 チャウ ウ	ハロウィン飾り	2階 9名 3階 6名
R5. 11. 12(日) 10:00:~10:30	依田 笹平 チャウ ウ エイ	クリスマス飾り	1. 2階 7名 3. 4階 14名
R5. 11. 19(日) 10:00:~11:00	渡邊正美 蔣 高橋裕子	ことわざめぐり脳トレゲーム 掛け算	1. 2階 17名 3. 4階 20名
R5. 12. 17(日) 10:00:~10:30	渡邊正美 蔣 アニー	ツボを覚えて健康に なぞかけ遊び	4階 7名 3階 13名
R6. 2. 11(日) 10:00:~11:00	笹平 チャウ エイ	鬼の面折り紙	2階 6名 1階 3名
R6. 2. 18(日) 10:00:~10:30	渡邊正美 蔣 アニー	のびのび体操 ボール投げ 漢字クイズ	2階 11名 3階 22名
R6. 3. 3(日) 10:00:~11:00	蔣 高橋裕子	言葉遊び 語呂合わせクイズ	1. 2階 20名 3. 4階 23名
R6. 3. 24(日) 10:00:~11:00	笹平 チャウ エイ	桜の壁掛け	2階 8名 4階 5名

⑦地域包括支援センター事業

事業名	対 象	開催日
センター長連絡会 センター長懇親会	センター長	4/20・6/15・10/19・2/15
介護予防ケアマネジメント担当者連絡会	介護予防担当者	4/14・7/12・10/11・2/22
主任ケアマネジャー連絡会	センター主任ケアマネ	3/6
上板橋地区ケアマネジャー交流・研修会	地区のケアマネジャー	7/21
若武者サロン	地域の医療福祉従事者	4/11・5/9・6/13・7/11・9/12・10/10・ 11/14・1/9・2/13・3/12
令和5年度事例検討会	地区のケアマネジャー	8/24・11/14
相談協力員連絡会	地域の民生委員等	1/22
地区ネットワーク会議	地区ネットワーク委員	2/13
小地域ケア会議	関係機関	12/11
上板橋地区別連絡会	関係機関	5/18・6/22・7/20・9/21・10/19・
地区民生・児童委員協議会	民生委員	5/18・6/22・7/20・9/21・10/19・11/21・12/21・1/25・2/22・3/21
地域リハビリテーションサービス調整会議	関係機関	4/17・7/28・2/20
認知症支援連絡会	関係機関	
認知症担当者連絡会	関係機関	4/18・2/30
認知症初期集中支援チーム員会議	認知症初期集中支援チーム員	9/29・12/15・2/6
もの忘れ個別相談会	地域住民	4/21・9/1
上板橋地区認知症を介護する家族交流会「やすらぎ」	地域住民	4/20・6/15・9/21・3/21
上板橋地区認知症を介護する家族交流会「ひだまり」	地域住民	5/17・8/16・11/15・2/21
認知症サポーター養成講座	地域住民等	4/10・5/13・5/22・6/9・8/3・9/30・11/25・1/12
サロン等開催支援 出前講座・出張相談	サロン・ド・SUN	4/7・6/2・7/7・10/6・12/1・2/1
	認知症カフェ	4/20・5/25・6/7・6/29・7/28・8/25・ 9/14・10/26・11/30・12/28・1/25・2/21
	住民主体型デイ	4/20・5/25・6/7・6/29・7/28・8/25・ 9/14・10/26・11/30・12/28・1/25・2/21
	Gルーム	5/10・6/15・7/20・8/17・9/21・12/21・ 2/29
	よりみちや	5/10・6/2・7/19・8/16・9/20・10/18・ 11/15・12/20・1/17・2/21・3/27
元気力測定会	地域住民	5/17・9/13・9/15・11/29
第二層協議体(支えあい会議中台)	区・社協・地域住民	4/20・5/26・7/10・9/14・11/27・12/27・ 1/25・2/26

3 人材育成

① 特養外部研修

No.	実施日	研修名	参加者	内容・備考
1	4月14日	誤嚥事故予防セミナー	介護職 1名	誤嚥の原因から予防方法、事故後の対応や救命措置など、法律・食 事・救命と多角的な視点から誤嚥事故予防について学ぶ (全国社会福祉協議会)
2	6月1日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	介護職 1名	福祉施設・事業所のキャリアパス構築を学ぶとともに、指導者としてキャリアパス研修を行う上での指導方法等について、実際に模擬授業を行いながら指導方法を身につける (東京福祉人材センター)
3	1月11日～ 1月15日	R5 年度 社会福祉施設長資格認定講習	施設長	幅広い福祉とその関連分野の知識のほか、管理者として必要な経営管理、人事・労務管理、財務管理について学ぶ (全国社会福祉協議会)
4	10月3日	福祉用具を使用した介助	介護職 1名	～スライディングシートからボード移乗まで～ (東京都社会福祉協議会)
5	9月11日	虐待・ハラスメントの防止～怒りをコントロールしよう～	介護職員他 14名	昨今、ニュース等でも問題になっている虐待問題について、怒りから来ることを鑑みて、職員がコントロールできるよう学ぶ (東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター登録派遣事業)
6	9月12日	研修講師養成研修	生活相談員 1名	講師として研修に登壇する上での心構えと、効果的な研修を行うための3つのポイントを学ぶ (株式会社インソース公開講座部)
7	10月25日	令和5年度 福祉職のためのメンタルヘルス講習会	介護職員 1名	～福祉職のためのメンタルヘルス～ ～利用者とのより良い距離感を学ぶ～ (東京都社会福祉協議会)
8	10月30日	安全運転管理者講習	安全運転管理者 1名	企業として、安全運転がもたらすメリット・危険運転等交通違反による企業の多大なる不利益が被る事を学ぶ。等 (一般財団法人 東京都交通安全協会)
9	12月4日	救急救命講習(集合研修)	介護職員等 14名	～志村消防署による ADE を含めた救命処置の方法～ (東京消防庁 志村消防署)
10	1月9日	押さえておきたい!2024年介護報酬改定のポイント	生活相談員、機能訓練士 他 15名	改正の方向、内容を整理、解説を行い、改正内容の理解と準備を進める内容 (東京都社会福祉協議会)

11	11月9日	包括センター職員現任研修	地域包括支援センター職員 2名	地域包括支援センターの適切な運営及び機能強化を図ることを目的とする (東京都保健福祉財団)
12	2月1日	令和5年度東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修	全職員	高齢者施設において感染症の発生を防止するとともに、感染症発生時に適切な対応が可能な施設内体制を整備することを目的とする (東京都福祉局)

※上記の他、ZOOM や集合型研修の実施あり(介護支援専門員更新研修 等)

② 特養内部研修

No.	実施日	研修名	参加者	内容・備考
1	4月27日	緊急時の対応に関する研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
2	5月25日	プライバシーの保護の取り組みに関する研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
3	6月22日	食中毒予防研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
4	7月27日	倫理及び法令遵守に関する研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
5	8月24日	事故防止研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
6	9月28日	防災・事業継続計画(BCP)研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
7	10月26日	認知症ケア研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
8	11月30日	感染予防研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
9	2月22日	褥瘡防止研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修
10	3月28日	身体拘束防止研修	施設長、師長、管理課 他	若木ライフ全体会内部研修

居宅介護事業所 外部研修

2023年度

No.	実施日	研修名	参加者	主催(備考)	伝達会議日
1	4月27日	新任ケアマネジャー向け研修 介護保険事務と板橋区の地域包括ケアシステムについて	竹村	おとしより保健福祉センター	5月2日
2	4月27日	緊急時もしくは 事故の対応に関する研修	植田	若木ライフ 管理課	5月9日
3	6月16日	ケアプランデータ連携システム説明会	小島	板橋区主任介護支援専門員協議会	6月28日
4	6月17日・18日	日本ケアマネジメント学会第22回研究大会	小島	日本ケアマネジメント学会	6月28日
5	6月27日	精神障害の基礎知識 ～特性の理解とかかわり方を学ぶ～	植田	おとしより保健福祉センター	7月11日
6	7月15日	SV総論	小島	CMAT	7月19日
7	7月28日	虐待STOP研修	植田	板橋区介護サービス全事業所連絡会	8月1日
8	7月29日	SVプロセスにおける実践上の要点	小島	CMAT	8月8日
9	7月31日	認知症の状態にある人との コミュニケーションについて	小島・植田	おとしより保健福祉センター	8月22日
10	8月7日	「スーパービジョンの基礎・応用」	小島	CMAT	8月8日
11	8月18日	第2回板橋区医療介護連携を考える会	小島	板橋区主任介護支援専門員協議会	9月5日
12	8月19日	精神疾患を抱える方への面接技法	小島	CMAT	9月5日
13	8月24日	令和5年度自立支援・重度化防止等 介護支援専門員質の向上研修	小島	CMAT	9月5日
14	9月11日	虐待・ハラスメントの防止 ～怒りをコントロールしよう～	深野	若木ライフ 管理課	9月13日
15	9月15日	板橋区と共に考える 「災害時のケアマネジャーの役割」	小島	板橋区主任介護支援専門員協議会	9月26日
16	10月13日	ケアプランデータ連携システム説明会	植田・深野	板橋区介護サービス全事業所連絡会	10月24日
17	11月17日	訪問看護と共に学ぶACP研修	植田・深野・小島	板橋区主任介護支援専門員協議会	11月21日
18	11月22日	第26回 在宅療養ネットワーク懇話会	深野	おとしより保健福祉センター	11月28日
19	11月28日	福祉用具の事故防止に向けた多職種連携	植田・深野	おとしより保健福祉センター	12月19日
20	12月1日	「東京都入退院時連携強化研修」研修1日目	小島	公益社団法人 東京都看護協会	12月5日
21	11月21日	高齢者虐待防止スキルアップ研修	平川	おとしより保健福祉センター	12月12日
22	11月22日	令和5年度4施設合同勉強会	小島・平川	上板橋病院	12月12日

23	12月4日	救命救急講習会	平川・東	東京消防庁	12月12日
24	12月11日	小地域ケア会議	平川・東	中台地域包括支援センター	
25	12月1日・12日	入退院時連携強化研修	小島	東京都看護協会	1月9日
26	12月20日	介護職員のための医療的知識	平川・東	板橋区おとしより保健福祉センター	12月26日
27	1月19日	ネットワークを作ろう会&新年会	植田・深野・平川・小島	板橋区主任介護支援専門員協議会	
28	1月22日	小地域ケア会議	東	中台地域包括支援センター	
29	2月22日	正しい床ずれの防止と介護	植田	若木ライフ 管理課	
30	2月29日	2024年度介護保険制度改正について	小島	一般社団法人 東京ケアマネジャー実践塾	3月19日
31	3月9日	2024年度介護保険制度改正セミナー	小島	一般社団法人日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャーの会	3月19日
32	3月11日	ファシリテーター研修	小島	板橋区主任介護支援専門員協議会	3月19日
33	3月18日	2024年度介護保険制度改正が 居宅介護支援業務に与える影響	植田	おとしより保健福祉センター	3月19日
34	3月26日	令和6年度 介護保険制度改正・報酬改 定を『読み解く』!	小島	一般社団法人 東京ケアマネジャー実践塾	4月16日

④ 居宅介護事業 内部研修

2023年度

No.	実施日	研修名	担当
1	4月1日	第7章 うつ状態の人への対応 ポイント1「味方になる」段階を重視する P206～P211	植田
2	4月4日	第7章 うつ状態の人への対応 ポイント2「こうすればいいよ」までのメッセージの与え方 P212～P215	小島
3	4月11日	第7章 うつ状態の人への対応 ポイント3 根本的な対処が遅れることのないように P215～P216	竹村
4	4月18日	第8章ケーススタディ「1時間相談法」の成功例 図23.1時間の組み立て方 イメージアップのための一つの目安	植田
5	4月25日	第8章ケーススタディ「1時間相談法」の成功例 P220-225	小島
6	5月2日	第8章ケーススタディ「1時間相談法」の成功例 P225-232	竹村
7	5月9日	コミュニケーション技術 01 コミュニケーションの魅力	植田
8	5月16日	だいをギョッと！ケアマネ実践カシリーズ コミュニケーション技術 聞く力と伝える力を磨くコツ(真辺 一範著:中央法規) 02 専門職と一般人の対話の違い P004～P005	小島
9	5月23日	だいをギョッと！ケアマネ実践カシリーズ コミュニケーション技術 聞く力と伝える力を磨くコツ(真辺 一範著:中央法規) 03 意思の疎通と日常会話 P006～P007	竹村
10	5月31日	コミュニケーション技術 04 コミュニケーションの基本のキ	植田
11	6月6日	だいをギョッと！ケアマネ実践カシリーズ コミュニケーション技術 聞く力と伝える力を磨くコツ (真辺 一範著:中央法規) 04 コミュニケーションの基本のキ P010～P011	小島
12	6月13日	コミュニケーション技術 05 聴く力と伝える	竹村
13	6月21日	コミュニケーション技術 06 利用者や家族とのコミュニケーション	植田
14	6月28日	コミュニケーション技術 07 多職種とのコミュニケーション①介護職 P16～P17	小島
15	7月4日	コミュニケーション技術 08 多職種とのコミュニケーション	竹村
16	7月12日	コミュニケーション技術 09 職場内でのコミュニケーション	植田
17	7月19日	コミュニケーション技術 朝の挨拶 COLUMN P22	小島
18	7月26日	コミュニケーション技術 10 絶対にうまくいく方法はない	竹村
19	8月1日	コミュニケーション技術 02 絶対にうまくいく方法はない	植田
20	8月8日	コミュニケーション技術 03 言語的・非言語的コミュニケーション	小島
22	8月22日	2押さえておきたいコミュニケーションのポイント 04伝わったことが伝えたこと P34-35	竹村
23	8月29日	コミュニケーション技術 04 伝わったことが伝えたこと	植田
24	9月6日	コミュニケーション技術 05事実は一つ、解釈は人の数 P036～P037	小島
25	9月13日	コミュニケーション技術 06体験が伝わる	深野
26	9月19日	(1)コミュニケーション技術 07 自分の感情とうまく付き合う P042～P043	植田
27	9月26日	(1)コミュニケーション技術 08常に相手の立場で感じ、考え、理解する P044～P045	小島

28	10月4日	(1)コミュニケーション技術 9 他人の幸福を喜ぶ P	深野
29	10月10日	(1)コミュニケーション技術 10 思い込みの枠を知る P048~P051	植田
30	10月17日	(1)コミュニケーション技術 10 思い込みの枠を知る P048~P051	小島
31	10月24日	(1)コミュニケーション技術 11 今ある自分から始める P052~P053	深野
32	10月31日	3章 コミュニケーション力を磨く 01 コミュニケーション力を測る P056~P057	植田
33	11月7日	3章 コミュニケーション力を磨く 02 フィードバックを取りに行く P060~P063	小島
34	11月15日	3章 コミュニケーション力を磨く 03 新しい体験をする P064~P065	平川
35	11月21日	3章 コミュニケーション力を磨く 04 無意識の抵抗に対応する P066~P067	深野
36	11月28日	3章 コミュニケーション力を磨く 05 習慣になるまで継続する P068~P069	植田
37	12月5日	3章 コミュニケーション力を磨く 06 やらないことを決める P070~P072	小島
38	12月12日	3章 コミュニケーション力を磨く 07 思いと行動を一致させる P073~P074	平川
39	12月20日	3章 コミュニケーション力を磨く 07 思いと行動を一致させる P073~P074	深野
40	12月26日	3章 コミュニケーション力を磨く 08 自己基盤を強化する P076~P077	植田
41	1月9日	3章 コミュニケーション力を磨く 08 自己基盤を強化する P076~P077	東
42	1月16日	4章 コミュニケーション技術 01 やる気や行動を引き出すコミュニケーション P080~P081	小島
43	1月23日	4章 コミュニケーション技術 02 コーチングの活用 P082~P085	平川
44	1月30日	4章 コミュニケーション技術 03 ティーチング・カウンセリング・コンサルティング P086~P087	深野
45	2月6日	4章 コミュニケーション技術 04 よく「聴く」ことで相手を自ら動かす P088~P089	植田
46	2月13日	4章 コミュニケーション技術 05 相手を成長させる「認める」力 P092~P093	東
47	2月21日	4章 コミュニケーション技術 06 相手の行動を変える「質問」の仕方 P094~P097	小島
48	2月27日	4章 コミュニケーション技術 07 うまくいかない時の切り札はストレートな「要望」 P098~P101	平川
49	3月5日	4章 コミュニケーション技術 08 普段の会話にコーチングを取り入れる P102~P105	深野
50	3月12日	第5章 チームで活かすコミュニケーション 01 コミュニケーションでチームを創る	植田
51	3月19日	第5章 02 メンバー同士のつながりを強める P112~P113	小島
52	3月26日	第5章 03 「ビジョン」を共有する	平川

⑤ 地域包括支援センター 外部研修

No.	実施日	研修名	参加者	主催及び開催場所
1	6月19日	令和5年度認知症アセスメントシート(DASC)研修基礎	上原	おとしより保健福祉センター
2	6月16日	介護予防給付および介護予防ケアマネジメント業務の一部委託研修	上原・鈴木	おとしより保健福祉センター
3	6月30日	医療連携連絡会	上原・鈴木	おとしより保健福祉センター
4	7月9日	令和5年度初期集中チーム員研修	上原	おとしより保健福祉センター
5	7月9日	令和5年度認知症初期集中チーム員研修	鈴木	東京都保君福祉局長寿社会対策部 在宅支援課
6	7月6日・7日	令和5年度東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	鈴木	東京都保君福祉局高齢社会対策部 東京都福祉保健財団
7	7月13日・14日	令和5年度認知症地域推進委員研修	田中	社会福祉法人浴風会 オンライン参加
8	7月13日	令和5年度初期集中チーム員研修	小川	東京都保健福祉局長寿社会対策部 在宅支援課
9	7月19日・20日	令和5年度東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	上原	東京都保君福祉局高齢社会対策部 東京都福祉保健財団
10	8月18日	令和5年度東京都ひきこもりに係る関係機関向け専門研修	鈴木	東京都ひきこもりサポートネット
11	8月25日	令和5年度東京都ひきこもりに係る関係機関向け専門研修	中村	東京都ひきこもりサポートネット
12	9月1日	令和5年度第1回精神保健福祉講演会当事者が語る「アルコール依存症との向き合い方」	上原	板橋区保健所予防対策課 管理・精神難病係
13	9月6日	根拠ある相談支援記録の書き方	上原・中村	おとしより保健福祉センター
14	9月29日	弁護士と保健福祉職との合同勉強会	田中・中村	板橋法曹会保健福祉委員会 他
15	9月27日	自分らしく歳を重ねるために	清水	おとしより保健福祉センター
16	9月27日	事業実施団体とおとしより相談センターの連携	清水	おとしより保健福祉センター
17	9月20日	令和5年度 板橋区主任ケアマネジャー合同連絡会	小川	おとしより保健福祉センター・板橋区 主任介護支援専門員協議会
18	10月24日・25日	令和5年度 認知症地域推進委員研修(新任者研修)	鈴木	社会福祉法人浴風会 認知症介護研究研修センター
19	10月12日・13日	東京都地域包括支援センター職員研修(現任者研修)	清水	東京都福祉保健財団 人材育成部
20	11月9日・10日	東京都地域包括支援センター職員研修(現任者研修)	田中	東京都福祉保健財団 人材育成部
21	11月20日	令和5年度第1回介護予防ケアマネジメント研修	上原・鈴木	おとしより保健福祉センター
22	12月20日	令和5年度 介護職員向け研修 介護職として知って役に立つ医学的知識	田中	おとしより保健福祉センター
23	1月22日	令和5年度第2回介護予防ケアマネジメント研修	上原	おとしより保健福祉センター
24	2月17日	長寿社会開発センター研究セミナー ・こんなときどうする！？精神疾患のある方の支援のポイント ・組織力アップのためのマネジメント～チーム力を高め、持続可能な組織をつくるリーダーの役割～	稲川	長寿社会開発センター 調査研究開発部